

(別紙様式2)

平成21年度
高大連携科目 シラバス

科目名	平和学A	受入可能人数	若干
大学名	聖トマス大学	担当教官名	代表 松本 耿郎
		開講時間	水曜日 4 時限(14:40 ~ 16:10)
学部名	人間文化共生学部	開講期間	9月30日 ~ 1月27日
[講座の目標等]			
<p>人々が平和に暮らすことが幸福の大前提である。それにもかかわらず平和でない状況が身近にも遠いところでも発生している。それは何故なのかという問題を考えることが求められる。平和の内に生きる権利を私たちは持っているにもかかわらず、この大切な権利が奪われてしまっている人々があちこちにいる。私たち一人一人が平和に生きているかどうかをよく考えて、平和の意味を理解し、平和をきづくことができるようになる知恵を身につけることがこの講義の目的である。</p>			
[講座の内容・計画等]			
<p>(a)現在の平和を脅かす諸問題は拡大化・複雑化し、一国のみで解決することは困難になつてきている。その影響は他国にも及び日常化し、喫緊の課題になることもある。しかし、これらの問題は人間によってもたらされたものであり、人間の英知で解決できないはずはない。そこで現在報道されているタイムリーな問題の中からテーマを選び、その背景と現状に関する資料をもとに考察し、グループ討議でコミュニケーションスキルを高めると共にレポートにまとめる力も養いたい。(山下)</p> <p>(b)平和はただ戦争のない状態にとどまらず、構造的暴力のない平和の文化が根付いた状態である。その積極的な平和を築くために、動物の行動から「賢い利己主義」に基づく共生のあり方を学び、平和をめぐる倫理的ジレンマを考察し、日本の伝統文化のなかにうらみを解毒する知恵を探りあててみたい。(奥村)</p> <p>(c)平和を築くために次の2つの側面を見ることとする。平和を脅かす面:戦争,暴力,貧困(物質的,社会からの排除),過剰な経済的発展がもたらす否定的結果(威張ること,他のことに配慮しない態度など)。平和を築くための積極的な面:グローバルな社会での人間の連帯,人間の尊厳を尊重する態度,真の意味での人間環境の</p>			
[テキスト・教材・参考書等]			
[履修上の注意]			
<p>複数の担当者による輪講形式の授業。担当予定者以外の学外講師による授業が行われる場合もある。</p>			
[高校生へのメッセージ等]			